

三重県のチームオレンジの状況報告

令和5年3月
三重県医療保健部長寿介護課

【目次】

1. チームオレンジの整備（概要）

- ・ チームオレンジとは
- ・ チームオレンジ3つの基本
- ・ チームオレンジの種類
- ・ チームオレンジに係る国・県の目標値について

2. チームオレンジの整備（設置状況）

- ・ 東海北陸6県の状況
- ・ 県のチームオレンジ立ち上げ支援
 - ①三重県オレンジ・チューター派遣制度
 - ②チームオレンジコーディネーター研修
- ・ 三重県のチームオレンジ設置状況（令和4年3月末現在）

3. 県内のチームオレンジ活動内容

- ・ 津市 チームオレンジ・あしたば
- ・ 伊勢市 チームオレンジ
- ・ 桑名市 精義おたすけ隊チームオレンジ
- ・ 鈴鹿市 チームオレンジ鈴鹿
- ・ 亀山市 チームかめやま
- ・ 玉城町 サポーターさくら

チームオレンジの整備(概要)

★チームオレンジとは

認知症と思われる初期の段階から、心理面・生活面の支援として、市町村がコーディネーターを配置し、地域において把握した認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と認知症サポーター(基本となる認知症サポーター養成講座に加え、ステップアップ講座を受講した者)を中心とした支援者をつなぐ仕組み。

★チームオレンジ3つの基本

- ①ステップアップ講座修了及び予定のサポーターでチームが組まれている
- ②認知症の人もチームの一員として参加している。(認知症の人の社会参加)
- ③認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援ができる



チームオレンジの種類	特徴
【第1類型】 共生志向の標準タイプ 活動の拠点の設置して活動	
【第2類型】 既存拠点活用タイプ 既にある地域資源の活動の中に、 認知症の人への困りごとへの対応を組み入れる	「まちなかサロン」や「認知症カフェ」 「介護予防教室」などをチームにする。
【第3類型】 拠点を設置しない個別支援型タイプ 活動拠点をつくらずに支援をする	既存のサロンや認知症カフェなどへ メンバーが訪問し支援等をする。

チームオレンジの整備(概要)

【KPI】各市町村1チーム設置

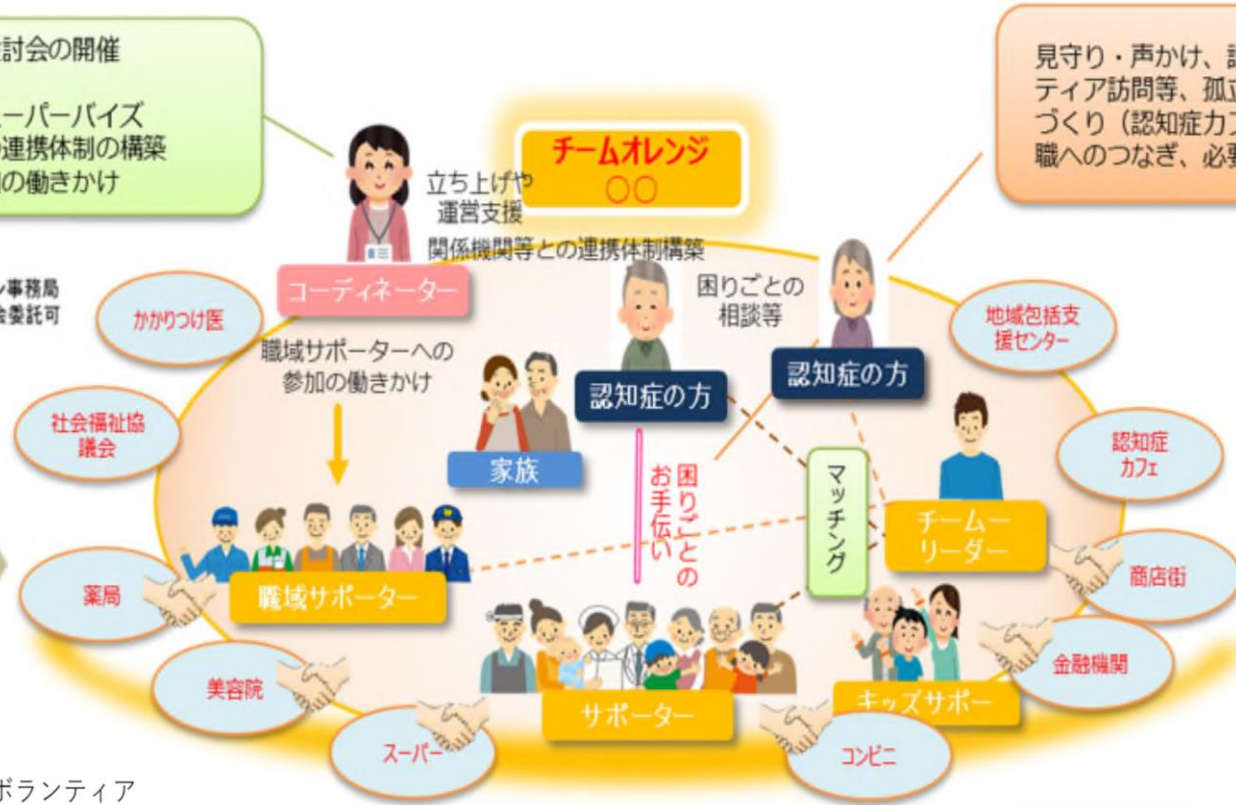
- ・ 仕組みづくりに関する検討会の開催
- ・ チームの立ち上げ支援
- ・ チームの運営に対するスーパーバイズ
- ・ 地域の企業や事業者との連携体制の構築
- ・ 職域サポーターへの参加の働きかけ

見守り・声かけ、話し相手、外出支援、ボランティア訪問等、孤立しないための関係づくり(認知症カフェの同行・運営参加)、専門職へのつなぎ、必要な窓口の紹介等

【ステップアップ実施主体】

- 市町村認知症サポーターキャラバン事務局
- 市町村キャラバン・メイト連絡協議会委託可

(ステップアップ研修)



※チームオレンジによる支援はボランティアで行うことが望ましい。(地域医療介護総合確保基金を活用した介護人材確保のためのボランティアポイントの仕組みの活用も可能)

チームオレンジ三つの基本

- ①ステップアップ講座修了及び予定のサポーターでチームが組まれている。
- ②認知症の人もチームの一員として参加している。(認知症の人の社会参加)
- ③認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援ができる

チームオレンジに係る国・県の目標値について

○認知症施策推進大綱(KPI)

- ・2025(令和7)年
- ・全市町村で、本人・家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組み(チームオレンジなど)を整備

○三重県「みえ元気プラン」 【施策2-3】介護の基盤整備と人材確保

【基本事業3:認知症になっても希望を持てる社会づくり】

認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会をめざして、それぞれの地域で本人と家族を支えるため、認知症サポーターや認知症の人によるチームオレンジ等の支援体制を構築するとともに、医療と介護の連携を図り、認知症の予防や診断後の支援等に取り組むなど、「共生」と「予防」を車の両輪として認知症の人本人に寄り添った施策を推進します。

【KPI(重要業績評価指標)】

チームオレンジ整備市町数を令和8年度29市町に設置

- ➡ 認知症の人やその家族に対する心理面・生活面の支援等を行うチームを整備した数

チームオレンジの整備(設置状況)

○ **令和2年度実績調査** ※認知症施策・地域介護推進課実施状況調べによる

- ・39都道府県138市町村にて、415チームが設置され、5,347名のチーム員が活動している。
- ・活動内容としては、傾聴ボランティア・相談相手、外出支援・同行支援、地域での見守り支援・自宅訪問などがあがった。

～都道府県別実施状況(実施市町村数)～

都道府県	実施市町村数	未実施市町村数	都道府県	実施市町村数	未実施市町村数	都道府県	実施市町村数	未実施市町村数
北海道	14	165	石川県	2	17	岡山県	1	26
青森県	2	38	福井県	0	17	広島県	0	23
岩手県	0	33	山梨県	1	26	山口県	1	18
宮城県	2	33	長野県	4	73	徳島県	3	21
秋田県	1	24	岐阜県	6	36	香川県	2	15
山形県	1	34	静岡県	13	22	愛媛県	0	20
福島県	2	57	愛知県	8	46	高知県	1	33
茨城県	0	44	三重県	2	27	福岡県	3	57
栃木県	8	17	滋賀県	3	16	佐賀県	0	20
群馬県	3	32	京都府	0	26	長崎県	1	20
埼玉県	5	58	大阪府	6	37	熊本県	6	39
千葉県	7	47	兵庫県	3	38	大分県	1	17
東京都	4	58	奈良県	4	35	宮崎県	1	25
神奈川県	5	28	和歌山県	3	27	鹿児島県	1	42
新潟県	3	27	鳥取県	0	19	沖縄県	2	39
富山県	1	14	島根県	2	17	計	138	1,603

～都道府県別実施状況(チーム数・チーム員数)～

都道府県	チーム数	チーム員数	都道府県	チーム数	チーム員数	都道府県	チーム数	チーム員数
北海道	29	299	石川県	20	237	岡山県	1	26
青森県	2	27	福井県	0	0	広島県	0	0
岩手県	0	0	山梨県	1	29	山口県	1	13
宮城県	2	45	長野県	9	196	徳島県	3	63
秋田県	1	60	岐阜県	10	235	香川県	3	28
山形県	1	13	静岡県	32	474	愛媛県	0	0
福島県	2	49	愛知県	9	192	高知県	1	14
茨城県	0	0	三重県	6	53	福岡県	3	69
栃木県	8	182	滋賀県	3	58	佐賀県	0	0
群馬県	3	59	京都府	0	0	長崎県	1	184
埼玉県	9	47	大阪府	6	164	熊本県	14	453
千葉県	35	778	兵庫県	4	110	大分県	1	10
東京都	7	63	奈良県	7	154	宮崎県	1	20
神奈川県	38	527	和歌山県	3	73	鹿児島県	1	41
新潟県	7	66	鳥取県	0	0	沖縄県	2	12
富山県	127	200	島根県	2	24	計	415	5,347

令和4年3月末現在、6市町13チーム設置済み

➡ **津市1チーム、伊勢市8チーム、桑名市1チーム
鈴鹿市1チーム、亀山市1チーム、玉城町1チーム**

チームオレンジの整備(設置状況) 東海北陸6県の状況

チームオレンジ実施状況調べ(管内6県) ※R3年度実績

チームオレンジの実施状況について、管内6県合計設置済市町村数は25.3%（令和3年度実績）となっており、全国設置済市町村数の5.0%（令和2年度実績）を大きく上回ることが分かる。

都道府県名	設置済市町村数 (市町村数との比)	チーム数	チーム員数	市町村数
全国(R2年実績)	87 (5.0%)	153	3,118	1,741
富山県	1 (6.7%)	1	19	15
石川県	3 (15.8%)	21	282	19
岐阜県	7 (16.7%)	13	175	42
静岡県	18 (51.4%)	40	751	35
愛知県	15 (27.8%)	21	382	54
三重県	6 (20.7%)	13	281	29
6県合計	49 (25.3%)	106	1883	194

三重県のチームオレンジ立ち上げ支援

令和元年

●認知症サポーター等活動促進事業

伊勢市：4チーム、 亀山市：1チーム 結成

(認知症の人と家族の会
三重県支部 委託)

令和2年

●オレンジチューターの養成

国の開催する研修の受講により、3名のチューターを養成

令和3年

●チームオレンジコーディネーター研修 (R3.7.9)

- ・ オレンジチューターによる講義、グループワーク
- ・ 22市町が参加
- ・ 新たに 津市：1チーム 鈴鹿市：1チーム 結成

●オレンジチューターの養成

- ・ 国の開催する研修の受講により、2名のチューターを養成

令和4年

●チームオレンジコーディネーター研修の実施 (R4.8.19)

令和7年度を目標に、全市町でチームオレンジの整備を目指す。

※オレンジ・チューター派遣事業を、4市町において活用

※令和4年度中に、4市町が立ち上げを予定 (R4.5月の調査結果)

●オレンジチューターの養成

- ・ 国の開催する研修の受講により、2名のチューターを養成

三重県
オレンジチューター
7名 8

～県のチームオレンジ設置支援の取組①～ 三重県オレンジ・チューター派遣制度

【三重県オレンジ・チューターの役割】

- ① 認知症の人や家族の困りごとの支援ニーズと
認知症サポーターをつなげる仕組み「チームオレンジ」の**構築支援**
(助言、研修会講師等)
- ② チームオレンジの**資質向上支援**(助言、研修会講師等)

三重県
オレンジチューター
7名
(令和4年度2名養成)

○県では、チームオレンジ設置等に向け、
依頼のあった市町へオレンジ・チューターを派遣しています。

➔令和4年度 **4市町(津市、鈴鹿市、松阪市、亀山市)**へ派遣

※ オレンジ・チューターとは

- 「オレンジ・チューター養成講座」(全国キャラバン・メイト連絡協議会実施)受講
- チームオレンジコーディネーター研修の講師

～県のチームオレンジ設置支援の取組②～ チームオレンジコーディネーター研修

★チームオレンジコーディネーター

チームオレンジの整備を推進していくための中核的な役割を担う人材。市町村に配置。

【役割】

- ①チームオレンジの立ち上げ
- ②ステップアップ講座の企画・開催
- ③チーム運営に対する助言等
- ④自治体管内のチームオレンジネットワークの構築

※コーディネーターは市町村等に1名以上配置される。(認知症地域支援推進員等の兼務可)

○チームオレンジコーディネーター研修

日時:令和4年8月19日 場所:県庁講堂

講師:三重県オレンジチューター 公益社団法人認知症の人と家族の会三重県支部
鈴木 さとみ 氏、野口 美枝 氏

- (1)チームオレンジについての概要
- (2)チームオレンジの立ち上げている市町からの報告
- (3)グループワーク1「わが町チームオレンジの企画書作り」
- (4)グループワーク2「各市町ごとで企画書を検討」

【研修実績】
21市町参加
40名参加

三重県のチームオレンジ設置状況

★令和4年3月末現在、**6市町**にて設置済み

	類型	活動人数	支援内容	チーム数
津市	第3類型	26名	認知症カフェ支援、普及啓発 サポーター養成、個別支援	1
伊勢市	第2類型	58名	見守り、話し相手、 地域での声掛け	8
桑名市	第2類型	23名	見守り支援	1
鈴鹿市	第3類型	54名	個別支援、既存の施策への協力 周知活動	1
亀山市	第2類型	29名	認知症普及啓発	1
玉城町	第2類型	89名	普及啓発、既存の施策への協力 個別支援	1

～県内のチームオレンジ活動内容①～

【津市】チームオレンジ・あしたば

グループ名	内容
○認知症カフェ支援グループ	現在津市内にある認知症カフェの活動支援および必要に応じてグループメンバー自ら認知症カフェを開催する等、認知症カフェの地域への定着を図っていきます。
○認知症普及・啓発グループ	認知症に対する地域の理解を深める活動、啓発媒体の作成、普及啓発の企画をしています。
○認知症サポーター養成グループ	認知症サポーターへの勧誘やグループメンバーでの認知症サポーター養成講座の開催を通じて、多世代の認知症理解を広めていきます。
○個別支援グループ	認知症の人やその家族の困りごとに対して、個別支援(例:話し相手、散歩の同行、定期的な見守り、趣味活動継続のお手伝い等)を行っていきます。



「チームオレンジ・あしたば」全体会の様子
 ➡上記グループに分かれて、どういった活動をしていくのか、今後の活動の方向性を話し合っています。

～県内のチームオレンジ活動内容①～ 【津市】チームオレンジ・あしたば

★オレンジウォーク津

認知症啓発を目的として、「オレンジウォーク津」を開催。
非営利市民活動団体「だいじこファミリー」と共催で実施。
三重県総合文化センター、Miemu周辺を歩きながら、「認知症にやさしい街づくり」への理解や「認知症サポーター」への参加呼びかけを行った。



日 時:令和4年11月23日(祝)

10:00～11:30

場 所:三重県総合文化センター

「フレンテみえ」3階セミナー室C

参加者:33名(その他 スタッフ:7名)



～県内のチームオレンジ活動内容②～

【伊勢市】チームオレンジ

集いの場やカフェ、会食会などを拠点に、認知症のある利用者の見守りや話し相手、地域の中で声かけなどの支援を行っている。

立ち上げ時期	チームオレンジ名
R元年10月	家族の会つどい
R元年10月	オレンジカフェほほえみ
R元年10月	認知症カフェあこや
R元年11月	認知症カフェさくら
R3年2月	憩いの家たまちゃん
R3年6月	みなとカフェ
R3年7月	オレンジつどい
R4年3月	北浜まちづくり協議会 地域福祉委員会
R4年6月	いきいきサロンひなたぼっこ



みなとカフェ

お茶を飲みながら、ゆっくり語り合ったり、運動したりして心も体もリフレッシュしませんか？

★実施日時：毎月最終火曜日 10時～12時

★場 所：みなとふれあいセンター2階（住所：伊勢市神津港262-1）

★参加費：100円（飲み物代）

※参加条件：●みなとカフェに一人で気軽いただける方
●家族と一緒に参加できる方
（当日飛び入り参加も可能です。）

※マスク着用でお越し下さい。

主 催：オレンジ（伊勢市ボランティアセンター登録団体）
協 力：社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会

内 容

10:00～ 健康チェック（希望者のみ）

10:30～ レクリエーション・体操

11:00～ 座談会：お茶を飲みながら
皆で盛り上がりましょう！

※認知症の方、家族の方の参加も大歓迎です。

お申込み・お問い合わせ先
オレンジ 担当：〇〇まで
お電話ください。
電話：〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
（不在時に折り返し連絡させていただく場合がございます。）

公共交通機関利用
近鉄伊勢市駅、JR伊勢市駅から三重交通8番乗り場の一色バスに乗り三交神社バス停下車、徒歩3分。




【みなとカフェ】
ステップアップ講座の様子。
カフェに認知症が心配な
方が来た場合の対応や、
どんな認知症カフェにした
いか等意見交換を実施。

～県内のチームオレンジ活動内容②～ 【伊勢市】チームオレンジ

【オレンジつどい】

- 生活支援コーディネーターの声かけで、要支援者を中心とした地域住民の集いの場である「集いの場・みやがわ」のスタッフがステップアップ講座を受講し、チームオレンジを結成。
- 集いの場の利用者だけでなく、一緒に活動するボランティアの中にも認知症の方がいます。
- 日常の地域の活動の中で認知症の方への見守りや声かけ等を実施

★令和3年5・6・7月にステップアップ講座を開催

★日頃の集いの場の様子



～県内のチームオレンジ活動内容③～

【桑名市】精義おたすけ隊チームオレンジ

認知症本人の見守り

➡お助け隊例会で話し合いを実施

－本人の情報共有及び見守りについて

➡認知症型支援調整会議の開催

－地域の見守り体制について

各関係機関で話し合い、支援内容を決定

【具体的支援内容】

- ①本人が立ち寄りのお店との連絡体制の構築
- ②妻の負担軽減への介護事業所との連携
- ③チームオレンジとして、本人への声掛け
- ④商店街の協力を得る
- ⑤自治会との情報共有

※現在、チームオレンジに協力いただいていた認知症の方が入所してしまったため、チームオレンジとしては活動していない。

論点：地域での見守り体制をどう築いていくか



・地域ケア会議終了後、おたすけ隊会長が会員へLINEで本人の見守りを依頼

➡ 次回の例会で本人さんの詳細情報を共有しおたすけ隊でも見守り

～県内のチームオレンジ活動内容～

【鈴鹿市】チームオレンジ鈴鹿 《第3類型》

○認知症のご本人・ご家族を「オレンジ」、サポートをする方々を「フレンド」と称して活動実施

【1】個別支援

○既存の社会保障サービス等では対応が難しいオレンジのニーズをフレンドと共に実施

(例)畑仕事、簡単な軽作業、工作 等

○場所は、自宅・社協の会議室 ○通称「夢を叶える活動」

【2】グループ活動支援

(1) 既存の認知症関連事業へのチームオレンジの協力

①若年性認知症者の会「レイの会」の方による洗車活動

若年性認知症の方の社会参加活動として社協の公用車を洗車。

フレンドはサポートを行う。

②おれんじルーム

認知症本人とそのご家族が参加。折り紙やすずか踊り、お話を共にする。専門医も参加。

③スローショッピングの日

誰もが安心して買い物ができるように「おもいやりレジ」「おもいやりカフェ」を設置。

マックスバリュ東海株式会社と協力して実施。フレンドによる買い物の付き添い(1店舗)。

④認知症カフェ「オレンジカフェ ベル」

イオン薬局主催の認知症カフェ。今後の支援内容等をフレンドと共に検討予定。

(2) 周知活動グループ

イベントや各活動に使用するグッズ(オレンジロボのマスコットやADイベントの啓発物等)の作成

～県内のチームオレンジ活動内容④～
【鈴鹿市】チームオレンジ鈴鹿

○若年性認知症者の会「レイの会」の方による洗車活動



～県内のチームオレンジ活動内容④～ 【鈴鹿市】チームオレンジ鈴鹿

○スローショッピングの日の様子



～県内のチームオレンジ活動内容⑤～

【亀山市】チームかめやま

【支援内容】認知症普及啓発

【活動地域】亀山全域

【活動内容】

- 定期的にチーム員が集まり、意見交換を実施
- 近所の集まりや道ですれ違った際に声かけを実施
- アルツハイマー月間の取り組みで、講座や介護者のつどいにサポーターとして参加
- 図書館において認知症の普及啓発活動を実施予定

★県チューター派遣制度を利用。

➡チューターと今後のチームオレンジの活動につき検討を行っている



○図書館での普及啓発活動のチラシ

心いきいき回想法

～一緒に懐かしい話に花を咲かせましょう～

昭和の頃の生活用具を見ながら、当時の遊び、流行った音楽、銀幕のスターなど、思い出を語り合うことで共感しあい、心を元気にしましょう。

回想法の考え方やポイントについて作業療法士の方にお話しいただきます。

とき
令和5年

1月30日

13:30 ~ 15:30

*ご都合の良い時間に来てください。
*出入り自由です。

ところ

亀山市立図書館1階多目的室

御幸町318番地1 (JR亀山駅前)

クルクルレインボー
も作れるよ!



『回想法』とは・・・
経験したことを楽しみながら語り合うことで、脳を活性化させ、心を元気にすることです。

- ◆主催 チームかめやま
- ◆協力 亀山第1・第2地域包括支援センター
カナリアチーム

- ◆チームかめやま事務局・問合せ
亀山市健康福祉部地域福祉課
高齢者支援グループ
0595-84-3312

※コロナウイルス感染防止にご協力ください。



・発熱や風邪症状が見られる方は参加の自粛をお願いします。
・マスク着用とソーシャルディスタンスの確保にご協力ください。

～県内のチームオレンジ活動内容⑥～ 【玉城町】サポーターさくら

●立ち上げまでの経緯

玉城町では認知症サポーター「サポーターさくら」が平成20年から活動。
令和4年11月13日の認知症予防講演会において、チームオレンジ宣言をした。

支援内容

(1) つどい場「協」

週3回開所。

開所時間は誰でも自由に参加可能。手芸や将棋等好きな活動をして過ごす。

(2) 家族会の実施

2カ月に1回開催。本人や家族が集まる機会を提供している。

(3) 一般介護予防事業への参加

サポーターとして介護予防教室運営に参加。

(4) ほか

認知症サポーター養成講座の開催、ケーブルテレビを活用した啓発劇の実施、
高齢者見守り・声かけ訓練等への協力

～県内のチームオレンジ活動内容⑥～ 【玉城町】サポーターさくら

